

赤十字活動資金のご協力方法

主に、自治会や町内会などを通じた協力をお願いしておりますが、その他の方法(クレジットカード、PayPay、AmazonPay、口座振替)でもご協力いただけます。

※国内災害義援金は、全額を被災地の自治体にお送りし、市区町村を通じて被災された方に届けられます。義援金が日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。



▲詳細情報は
こちらから

税制上の優遇措置

日本赤十字社に対して一定額以上の寄付(会費、寄付金)をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。



▲詳細情報は
こちらから

遺産・相続財産などのご寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社岐阜県支部では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産、お香典からのご寄付を承っております。

※パンフレットをご希望の方は日本赤十字社岐阜県支部までご連絡ください。



▲詳細情報は
こちらから

活動資金に対する表彰

赤十字活動資金に多額のご協力をいただいた場合は、次のとおり表彰制度を設けております。

※寄付者のご意向を確認の上、個人、法人・団体に贈呈いたします。

日本赤十字社の表彰

銀色有功章 … 20万円以上50万円未満の活動資金へのご協力

金色有功章 … 50万円以上の活動資金へのご協力

社長感謝状 … 金色有功章受章後、50万円以上の活動資金へのご協力



銀色有功章
(個人・法人)



金色有功章
(法人)



金色有功章
(個人)

※寄付による表彰の他、ボランティア活動等の表彰もございます。

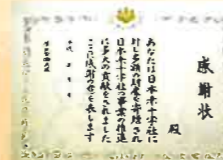
国の表彰

※同一寄付で、厚生労働大臣感謝状と紺綬褒章を同時に申請することはできません。

厚生労働大臣感謝状 … 同一年度内に 個人100万円以上、法人300万円以上の活動資金へのご協力

紺綬褒章 … 個人500万円以上、法人1,000万円以上の活動資金へのご協力

※分納の場合は、初回寄付の前に、予め分納のご意志をお伝えいただく必要があります。



厚生労働大臣感謝状



紺綬褒章



(個人のみ)

日本赤十字社創立150周年に向けて

2027年5月、日本赤十字社は創立150周年を迎えます。日本赤十字社はこれからも人間のいのちと健康・尊厳をまもるため、地域の皆さまとともに歩んでまいります。

県内の赤十字施設



日本赤十字社岐阜県支部

岐阜市茜部中島2-9
TEL:058-272-3561



岐阜赤十字病院

岐阜市岩倉町3-36
TEL:058-231-2266



高山赤十字病院

高山市天満町3-11
TEL:0577-32-1111



岐阜県赤十字血液センター

岐阜市茜部中島2-10
TEL:058-272-6911



【お問合せ】  日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

又は、市町村役場・社会福祉協議会の日赤窓口へどうぞ

2026年度

日赤ぎふ



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

 日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society



岐阜県民の皆さまへ

日頃より岐阜県民の皆さまには日本赤十字社の活動に対し、格別のご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。日本赤十字社では「人道」の理念のもと「いのちと健康、尊厳を守る」ために、国内外でさまざまな活動を行っております。特に近年激甚化、頻発化している自然災害に対しては、速やかな救護活動や救援物資の配布など被災者に寄り添った支援に努めています。また、平時から救護訓練や資機材の充実を進めるほか、いのちを守るための知識や技術の普及、ボランティアの養成などにより、災害に強い地域づくりに取り組んでおります。

これらの赤十字活動は、ご寄付やボランティア活動など、困っている人を助けたいという皆さまのお気持ちによって支えられております。今後も継続的な事業を展開するため、引き続き皆さまの温かく力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社岐阜県支部 支部長 江崎 禎英

赤十字の活動は、皆さまからお寄せいただく「活動資金」によって支えられています。

災害への備え

いち早く被災者を支援するために

いつどこで起こるかかわからない災害に対応するため、岐阜県内10カ所に救援物資備蓄倉庫を設置しているほか、県内市町村へ災害救護に必要な資機材等を整備しています。

【救援物資】

毛布	緊急セット	安眠セット	ブルーシート
タオルケット	テント	災害用移動炊飯器	

毛布…………… 7,198枚
 緊急セット…………… 1,175セット
 安眠セット…………… 1,539セット
 ブルーシート…………… 4,340枚
 タオルケット…………… 2,925枚
 テント…………… 365張
 簡易テント…………… 18張
 災害用移動炊飯器…………… 337台
 (令和7年3月末現在)

【災害救援車両】

災害救護業務のほか、平時においても福祉など赤十字活動のため、県内全市町村に76台(令和7年3月末現在)の災害救援車両を配備しています。



【救援物資備蓄倉庫設置場所】

- | 岐阜圏域 | 中濃圏域 | 東濃圏域 |
|--------------|------------|--------------|
| ①日本赤十字社岐阜県支部 | ④可茂総合庁舎敷地内 | ⑦東濃西部総合庁舎敷地内 |
| ②西濃総合庁舎敷地内 | ⑤中濃総合庁舎敷地内 | ⑧恵那総合庁舎敷地内 |
| ③揖斐総合庁舎敷地内 | ⑥郡上総合庁舎敷地内 | 飛騨圏域 |
| | | ⑨飛騨総合庁舎敷地内 |
| | | ⑩下呂総合庁舎敷地内 |

血液事業

献血はいのちをつなぐボランティア

病気の治療や手術などで輸血を必要とする人を救うため、献血ルームや献血バスでの献血を実施しています。医療機関へは24時間体制で安全な血液製剤を届けています。



献血のご協力をお願いします!

令和8年1月より従来の献血カードの新規発行・更新は終了しました。今後は献血Webサービス「ラブラッド」でのご協力をお願いします。ラブラッドでは事前予約や、事前問診回答ができ、献血記録(血液検査)の確認もできるようになっております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



救急法等の講習 令和8年12月に100周年を迎えます

大切ないのちと健康を守るため

身近な人を救うため、とっさの手当や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発や、防災に関するセミナーも実施しております。

- <講習内容>
- 救急法
 - 健康生活支援講習
 - 幼児安全法
 - 水上安全法
 - 防災セミナー



青少年赤十字

加盟率100%(小・中・義務教育、特支)

世界の平和と人道の実現のため、未来を担う子どもたちが実践活動を通して、自らが「気づき、考え、実行する」力を育てています。



▲詳細情報は
こちらから



<岐阜県内青少年赤十字加盟校>(令和7年3月末現在)

幼稚園等…………… 67園	義務教育学校…………… 7校
小学校…………… 340校	高等学校…………… 50校
中学校…………… 180校	特別支援学校…………… 23校

国内災害救護

医療救護班計8班を常時編成

災害発生時に救護活動が迅速かつ的確に行えるよう平時から訓練や研修を行い救護体制を整えており、有事の際にはいち早く被災地での活動に従事します。



▲詳細情報は
こちらから

国際活動

人道支援に空白地帯をつくらない

相次ぐ自然災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組みます。



▲詳細情報は
こちらから

医療事業

高山赤十字病院・岐阜赤十字病院

健康の回復・維持や大切ないのちを救うため、地域のニーズに合った医療の提供に努めます。また、有事の際は、災害拠点病院として迅速な医療救護活動を行います。



高山赤十字病院



岐阜赤十字病院

赤十字ボランティア

赤十字活動を支える各奉仕団

「困っている、苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを持つ方が、その思いを結集し、岐阜県内で、在宅高齢者の訪問や、災害時の炊き出し訓練等様々な赤十字活動を行っています。



<赤十字奉仕団>

地域奉仕団 42団	7,002人
青年奉仕団 2団	10人
特殊奉仕団 7団	160人

(令和7年3月末現在)



▲詳細情報は
こちらから

看護師等の教育

未来の赤十字を担う人材育成

赤十字精神に基づき国際人道法や災害看護を学び、豊かな人間性と看護に関する幅広い知識・能力を備えた人材を育成します。



令和6年度日本赤十字社岐阜県支部決算報告

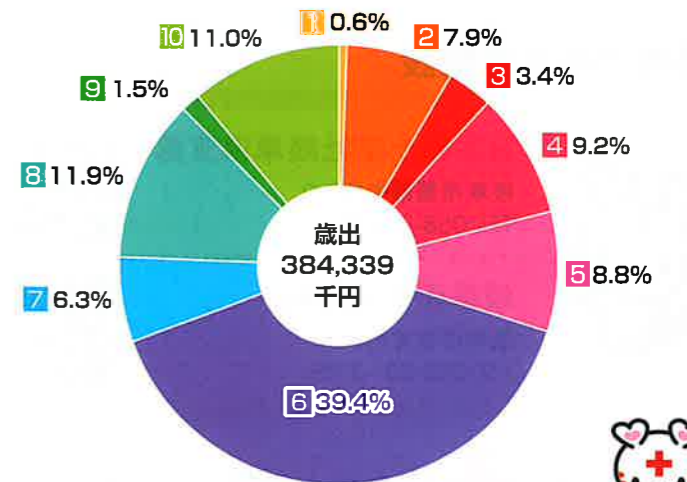
【歳入】

会費・寄付金収入	298,040千円
その他収入	89,531千円
前年度繰越金	70,993千円
合計	458,564千円

【歳出】

1 国際活動	2,100千円
2 災害救護や災害への備え	30,537千円
3 救急法等講習普及	12,696千円
4 赤十字奉仕団や青少年赤十字の活動	35,647千円
5 赤十字思想の普及等	33,824千円
6 市町村の赤十字活動	151,688千円
7 赤十字病院や血液センターの施設整備	24,055千円
8 救護看護師の養成	45,906千円
9 広域の赤十字活動	5,429千円
10 赤十字活動の運営管理	42,457千円
合計	384,339千円

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございます。



※歳入歳出差引額74,225千円は令和7年度に繰り越しました。

